

加藤議員

福井社会保険病院の移行について

Q 質問

福井社会保険病院は、平成26年4月1日から地域医療機能推進機構が直営することになり、名前も「福井勝山総合病院」と変わる。

①病院の患者向けの給食が外部の業者に委託されると、人件費や食材の削減で、おいしい給食が提供されないのでないか。病院給食の外部委託について市長はどのように把握しているのか。

②新病院は「地域協議会」を設置して地域の意見を反映する病院経営が求められている。市長の見解を伺う。

A 答弁

①定期的な打ち合わせ等では、病院給食を委託しても今まで作るため、病院としてもしっかりと指導していくと聞いている。これまでRFOと厚生労働省に対して「地域協議会」の設置について早くから要望しており、今後も地域協議会の速やかな設置などを要望活動を行う。

④市では消雪用の水源として大蓮寺川から取水できないか河川管理者と協議している。

その他の質問
・子育て支援の充実について
・介護保険について
・産業廃棄物の処理について

乾議員

雪対策の充実について

Q 質問

①通学路の除雪が登校時間までに終わっていない。改善すべき。

②狭い道路の除雪対策について伺う。
③これまでの消雪整備の実績と今後の事業展開はどうか。

④流雪溝の水量確保について、どのような検討をしたか。

A 答弁

①今年度、早朝歩道除雪が実施できるよう体制の見直しを行い、通学時間帯には児童達が安全に登校できるようになる。

②大型除雪車が入っていけない狭い道路のうち、2・5m以上で雪押し場が確保できる路線は小型除雪車による除雪。それ以外の路線は、簡易消雪と、降雪が落ち着いた日中の排雪作業により対応している。

③最近3年間では、延べ14路線で延長1,200m。今後はサニーホームによる実証実験を行い、水量確保による簡易消雪に改良していく。

④市では消雪用の水源として大蓮寺川から取水できないか河川管理者と協議している。



福井社会保険病院

その他の質問
・福祉施設・入院可能な病院の防火体制について
・災害緊急情報伝達について
・屋根端の落雪の危険について

アベノミクス下の当市産業の状況について

Q 質問

日本経済の再生を掲げたアベノミクスから1年が過ぎた。気になるのは市内企業の景気状況。期待感があるが、原材料の高騰や来春からの消費税率のアップ等、経済が停滞する不透明な部分もある。最近の経済動向を踏まえ、市内企業の回復傾向や雇用環境の状況をどのように分析、把握しているか。

A 答弁

市内企業経営者等で構成する勝山市産業振興懇話会では、生産は忙しい状況にあるが、アベノミクスの効果が出ているという実感はないと聞いている一方で、技術開発はもとよりコスト削減にも重点を置き、省エネ型設備の導入や重油・電力などエネルギーの効率的な使用に会社全体で取り組み、成果を上げている企業もあると聞いている。雇用では一定の企業が今後もコンスタントに新卒者を採用していくといふ意向を持っているが、市内からの中の応募が少ないとの悩みも聞いている。

今後、市内企業のことを周知する取り組みを行うと共に、企業や学校と連携しながら、勝山市における新卒求職者と雇用のミスマッチを解消していきたいと考える。

その他の質問
・旧花月楼の建物は地域のシンボルとなる歴史的建造物であり、観光振興の観点からも、にぎわい創出につなげるなどの利活用の方策や可能性について、今後さらに関係各課と連携し検討していく

まちなか誘客について 貴重な歴史建造物の保存と活用－花月楼－

Q 質問

まちなかの貴重な歴史建造物を観光資源として、きちんと保護し有効的に利活用し、にぎわい創出の重要な起点として整備していくことはとても重要。花月楼は往時の庶民文化の面影を偲ばせる情緒ある建物で、当市の近代歴史を物語る貴重な歴史遺産として国の登録有形文化財の認定を受けている。何とか保存に向けた利活用を考えたいもの。如何か。

A 答弁

旧花月楼の建物は地域のシンボルとなる歴史的建造物であり、観光振興の観点からも、にぎわい創出につなげるなどの利活用の方策や可能性について、今後さらに関係各課と連携し検討していく



花月楼